

校長通信 (教職員版) 第47号 2018. 7. 26

朝日新聞 時事ワークシート 詳細版

【1】はじめに

7月24日、朝日新聞名古屋本社で開催された「どう変わる、どう備える、大学入試改革と社会で求められる力」に参加してきました。内容は、新聞を活用して「思考力・表現力・判断力など」を養成するために、朝日新聞が開発した時事ワークシートの説明です。以前に職員会議で、毎日新聞のニュース検定の話をしました。N検の内容は、マークシート方式のセンター入試に対応で、もう一つと思っていました。今回の時事ワークシートは、知識の習得、読解力、記述式、そして自分の意見を述べる表現力のところが、コンパクトにまとまっていて、中々のものではないかと思っています。

今回のセミナーは、

- ★朝日新聞 教育コーディネーター 一色 清 氏 の基調講演
- ★愛知みずほ大学瑞穂高校 広報部部長 樫内 久義 先生 の実践報告
- ★朝日新聞 教育事業部担当次長 竹中 和正 氏 (時事ワークシート編集統括) による「時事ワークシート」の説明

でした。この三人の中で、みなさんが知っているのは、一色氏ではないかと思います。右の写真の人です。経歴を紹介すると、朝日新聞の記者のあと、



週刊「アエラ」編集長

テレビ朝日「報道ステーション」コメンテーター

有料論説サイト「ウェブロンザ」編集長

朝日新聞社教育コーディネーター

テレビ朝日「グッドモーニング」コメンテーター

を経験されています。

【2】一色氏の基調講演

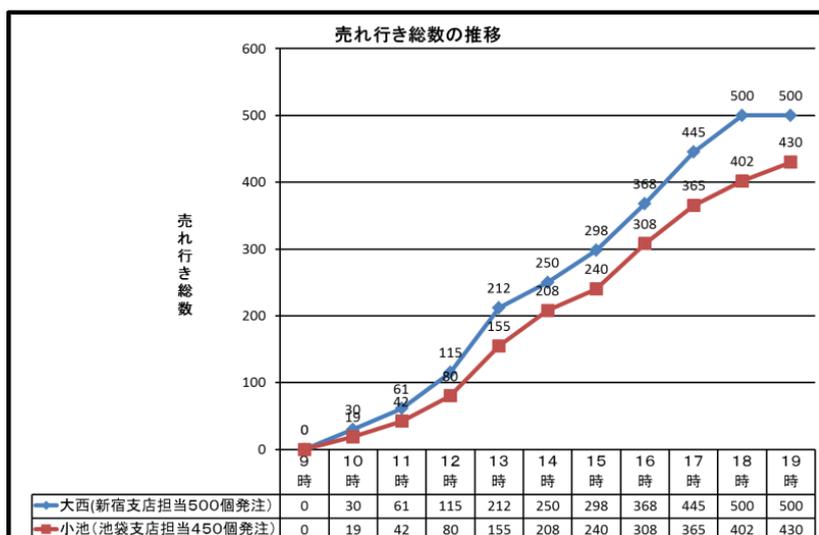
一色氏の基調講演について紹介したいと思います。といっても、私にとっても先生方にとっても、既知のことばかりでしたので、ほとんど紹介することはありません。ただ、開成中学校で出題された次の国語の問題は、「おー！」と唸られました。

□ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

北海商事株式会社は、北海道の名産物を、各地に紹介し、販売する会社です。大手百貨店の安田デパートから、「月末の休日に、新宿支店と池袋支店で北海道物産展を行うので、カニ弁当を仕入れてほしい」依頼されました。

北海商事では、新宿支店の仕入れ販売を大西社員が担当し、新宿支店よりやや規模の小さい池袋支店の仕入れ販売は小池社員が担当することになりました。両支店での販売を終え、翌月の月例報告会では、販売部長が下記のグラフを示しながら、両支店での成果を社長に報告しました。

「大西社員は、販売用に500個のカニ弁当を発注し、小池社員は、450個のカニ弁当



を発注しました。最終的に、新宿支店では、見事にカニ弁当は完売となりました。池袋支店では、20個の売れ残りが生じてしまいました。グラフは、9時の開店から19時閉店までの、カニ弁当の売れ行き総数を示したものです。二人の社員の評価について、社長はいかがお考えですか？」

この報告を聞いて、社長は、

「部長の報告は客観性に欠ける。君はすでに大西社員を高く評価しているではないか」

と伝えたと、

「私は、小池社員の方を高く評価する」

と答えました。部長が、

「新宿支店よりやや小さめの池袋支店でも、小池社員が、高い成果をあげたということがポイントでしょうか」

と尋ねたところ、社長は、

「支店の問題ではない」

と告げ、自分の考えを示しました。

問1 社長は、部長の報告のどの表現に、客観性に欠いたものを感じたのでしょうか。二つ探し出し、なるべく短い字数で書きなさい。

問2 大西社員より小池社員の方を高く評価する社長の考えとは、どのようなものと考えられるでしょうか。「たしかに」「しかし」「一方」「したがって」の四つの言葉を、この順に、文の先頭に使って、四文で説明しなさい。

問1は、簡単です。問2は、少し考えますよね。解答は書きません。皆さんで考えてください。この問題は、関東方面で、「開成ショック」として教育関係者に大きな波紋が起きました。また、週刊ダイヤモンドも「開成ショック」を取り上げています。「開成ショック」で検索してみてください。

最後に一色氏は、「新しい学力に必要なものとして、3点挙げています。それは、

★社会への関心 ★読解力 ★論理的思考力

です。〇〇高校の生徒は、どれも弱いと思いますが、社会への関心は、極端に弱いように思いますが、如何でしょうか？

【3】愛知みずほ大学瑞穂高等学校の報告

次に愛知みずほ大学瑞穂高校の実践紹介をします。瑞穂高校ですが、商業系の女子高校として設立されたと榎内先生は、報告されました。「いまでこそ共学だが、やはり女子が多い、進路はかなり多様で、国公立でも入ろうものなら、万歳三唱の学校です。」というのが、紹介でした。

この「時事ワークシート」は2017年に導入されています。ですから、比較的導入されてまだ日が浅いと言えるでしょう。利用されているコンテンツは、「新聞の読み解き」「図とグラフ」「実践ことば力」です。

(1) 活用状況

榎内先生は、クラスを持っておられないので、主に、入試対策に利用されていると言っておられました。すなわち、大学の推薦・AO入試の小論文・面接対策、志望理由書作成指導で利用されています。「新聞の読み解き」ワークシートをほぼそのまま利用していると報告されました。

他の先生で、週末課題に使っているという先生がおられるようです。週末課題として2種類をランダムに出題。月曜日に解答配布し、自己採点させた後に回収という取組をされています。

あと、「総合的な学習の時間」にも活用したり、長期休暇中の課題として5回分を印刷し、冊子にまとめて課題したり、という取組もあると報告されました。

(2) 「時事ワークシート」の利点

榎内先生は、「とにかく素材がタイムリー」であることを強調されていました。これは、後の竹中氏の説明の中にも出てきたのですが、このワークシートは、朝日新聞に記事として掲載されてから、約3週間後に教材化されます。また、教師が「どの記事を教材化しようか？」という考える手間が省けることは、時間の節約に助かる、さらにワークシートが簡潔にまとまっている、解説付きの模範解答が用意されている点も利用しやすいと報告されていました。

このあたりは、先生方が実際に仮のID・パスワードでログインされ、教材を検索されることで確かめてください。私もセミナーで配布されていた一部の教材を自分でやってみました。

記事に関する読解力の習得⇒記述式問題で表現力を鍛える⇒自分の考えをまとめる

というパターン化がされていますから、「取っ付き易いな・・・」と思いました。

(3) 生徒の感想

さて、瑞穂高校で取り組んだ生徒の感想です。これが大事だと思います。紹介します。

- ・新聞を読む習慣がなかったが、授業を通してニュースや時事問題などにも興味を持つようになった。
- ・新聞の文章が文章構成の理解につながると感じたのでたくさん読んで、自分で文章を書く際にも参考にしようと思った。
- ・新聞を自主的に読む習慣がついた。
- ・一つのことについて深く考える習慣がついた。
- ・自分の意見をしっかり書くことができるようになった。
- ・文章を書けるようになっただけでなく読解力が身について第一志望に合格できた。

まあ、朝日新聞さんのいる前での報告ですから、良い感想ばかりが報告されていましたが、それでも「話半分」で聞いても、成果はあるように思いました。

(4) 教員の感想

最後に「時事ワークシート」を使用した教員の感想です。

- ・知っているニュースに関しては、興味を持って取り組む。
- ・問題数が多くないため、さほど抵抗感を感じていない様子。
- ・ニュースで見聞きした時事問題が出題されるため、興味を持って取り組んでいる。
- ・問題数が多くないため、継続が容易。
- ・生徒はいたって真面目に取り組んでいる。
- ・主に「新聞の読み解き」を使用したか、生徒が取り組みやすいように工夫されていて使いやすかった。
- ・小論文や面接の指導で使用したが、回を重ねるごとに文章の内容や面接の受け応えにおいて生徒の成長が実感できた。
- ・推薦入試対策の小論文指導で使用したが、専門分野の知識に関して新書などを読ませるよりも新聞記事のほうが生徒にとって取り組みやすいし、最新の話について触れることができ有用だった。

先生方の感想は、ざっとこんな感じです。とにかく、「時事ワークシート」がコンパクトにまとまっているので、時事問題に取り組ませる入り口としては、非常に抵抗感が低いという感じではないでしょうか？

【4】竹中氏の「新聞記事」の使い方

竹中氏は、肩書きからも「時事ワークシート」のセールスをすると思っていたのですが、然にらず、新聞記事の使い方を教えてもらいました。これはためになると思いますので、紹介します。

新聞を読む私たちには、普通、**1面、総合面、政治面、経済面、文化面、社会面**等というように、記事が書かれているページによって、その内容をジャンル分けすることを理解しています。竹中氏に言わせると、それはそれで正しいのですが、一つの記事に注目していくと、次のような分類の仕方もあるということです。つまり



という分類です。この分類を竹中氏は、「土俵の女人禁制」を例に説明してくれました。記事を掲載することはできないので、見出しを紹介していきます。

- 4月 5日 土俵で心臓マッサージ 「女性は降りて」 ⇒初報
- 4月 6日 「女性は土俵を降りて」波紋 ⇒続報
- 4月 6日 「天声人語」に掲載
- 4月10日 スポーツ不祥事 常識との溝、深い不信感⇒社説

4月17日 「土俵は女人禁制」起源は 江戸期に権威と人気 神事と結合⇒まとめ記事

4月19日 私の視点 ファンと共に改革議論を 大相撲舞鶴場所勸進元・前京都府綾部市長 四方 八州男
⇒オピニオン

4月20日 いちからわかる！大相撲の土俵「女人禁制」が話題だね ⇒ニュース解説

4月22日 耕論 「女人禁制」の壁 ⇒オピニオン

ざっとこんな感じです。そこで、竹中氏は、新聞記事の使い方として、

①初報（ストレートニュース）は、**知識の習得、社会への興味関心を高める**のに役立つ。具体的には、朝学、社会科の教材、スクラップ学習などである。

②まとめ記事は、**自分で考える力を鍛える、現代社会を知る**という事に役立つ。アクティブラーニングの教材や小論文対策に役立つだろう

③オピニオンは、まずは「**様々な考え方を知る**」ということ、**考えの幅を広げる**ことに役立つ。さらに読み込むことで、「**説得力のある表現**」を学ぶことができる。これもアクティブラーニングや総合的な学習の時間に役立てることができるだろう。

と述べておられました。言われてみると、「そうだね・・・」と思ってしまいますが、改めて記事をこのような観点で読んでみると、「どう教育現場で使うか？」という深みが生まれてくると思えました。

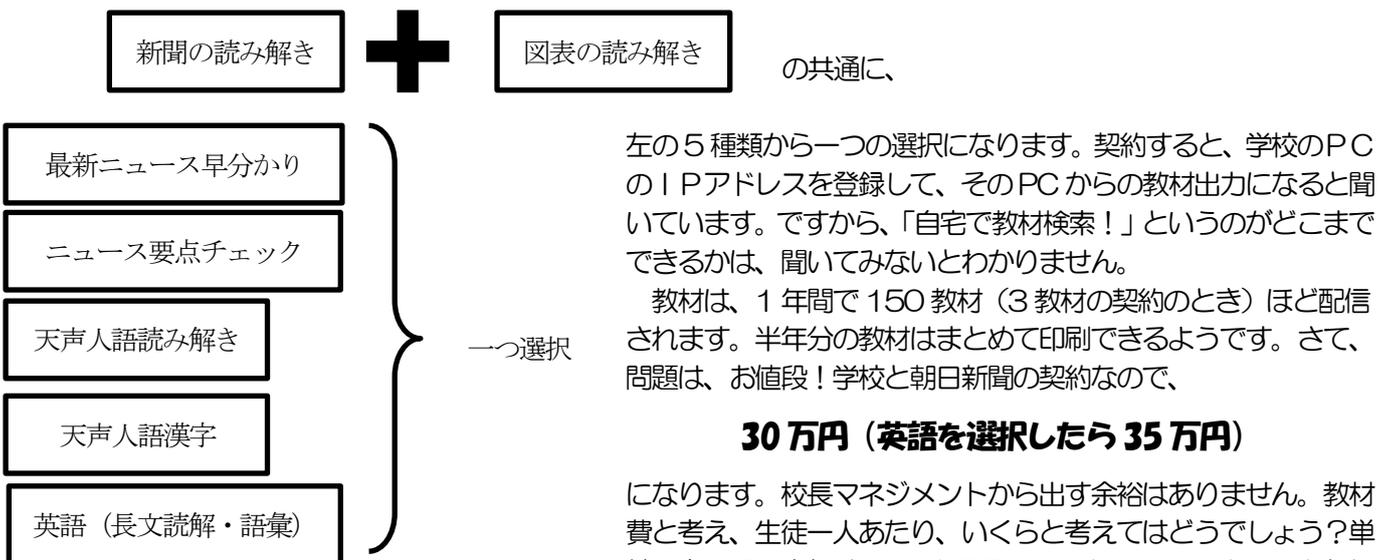
さて、最後に「時事ワークシート」の宣伝です。竹中氏によると、「時事ワークシート」の強みは、次の4点です。

- 速報性・・・新聞掲載から3週間前後で教材に！
- 旬の話題を厳選・・・記者経験者が素材選び！
- 図表の読み解き・・・新聞掲載のグラフや図表を活用したシートも！
- わかり易い解説・・・時事用語やニュースの背景の解説が充実

教材を見る限り、確かにその強みはあるな・・・と思います。さて、学校で導入するとなるとどうなるかですね。

【5】学校で導入するとなると・・・

学校がこの「時事ワークシート」を導入について、紹介します。学校がこの「時事ワークシート」を導入すると、2種類共通、1種類選択の教材を受けとることができます。すなわち



り、300円（または350円）です。このお金の使い方をする時は、この「時事ワークシート」をどのように使うかの計画が必要です。保護者からお金は出してもらったが、ほとんど使っていないでは、話になりません。今、朝日新聞社の担当者に来校依頼をしています。できれば、説明会を開催する方向で依頼しようと思っていますので、決まり次第、連絡します。

先生方もいろいろな活用方法を考えてみてください。